

一年生 国語 学習プリント



一年 組 名前

説明的文章「ダイコンは大きな根？」 筆者 稲垣栄洋

教科書 P 44 ~ 48

- 段落の役割に着目しながら、文章の内容をとらえる。
- 筆者の説明のしかたの工夫について考える。

① 本文を声に出して読みましょう。初めて知ったことを書きましょう。

- ② 段落の役割を考えながら、文章の内容をとらえましょう。
- ① この文章は、十の段落から成っています。それぞれの段落の中心となる内容をまとめましょう。

一	【は、さまごまな】 【からできている。
二	ダイコンの白い部分は、
三	カイワレダイコンは、
四	ダイコンの白い部分は、

4 作品の中に出てくる、次の言葉を使って例文を作りましょう。

■ いっぽう

《例文》

Blank box for writing an example sentence using the word 'いっぽう'.

■ いずれ

《例文》

Blank box for writing an example sentence using the word 'いずれ'.

5 作品の中に出てくる、次の漢字を書きましよう。

■ く	■ えが	■ たくわ	■ チ	■ あま	■ の	■ くき
く	える		エ	い	びる	
■	■	■	■	■	■	■
	ミ	サイ	かく	から	ハイ	フ
	リヨク	ボウ	す	い	ジク	ダン
■	■	■	■	■	■	■
	ハ	さ	ヒ	あと	ふた	
	カイ	く	カク		ば	

一年生 国語 学習プリント



一年 組 名前

説明的文章「ダイコンは大きな根？」 筆者 稲垣栄洋

教科書 P 44 ~ 48

○段落の役割に着目しながら、文章の内容をとらえる。

○筆者の説明のしかたの工夫について考える。

① 本文を声に出して読みましょう。初めて知ったことを書きましょう。

(例) 普段食べているダイコンの白い部分が、二つの部分から成り立っていることを知って驚きました。また、ダイコンの上と下で辛さが違うことや、その理由も初めて知りました。

- ② 段落の役割を考えながら、文章の内容をとらえましょう。
- ③ この文章は、十の段落から成っています。それぞれの段落の中心となる内容をまとめましょう。

一	(例)【野菜】は、さまざまな【器官】からできている。
二	(例)ダイコンの白い部分は、どの器官なのか。
三	(例)カイワレダイコンは、双葉と根、胚軸とよばれる茎から成り立っている。
四	(例)ダイコンの白い部分は、根と胚軸の二つの部分から成っている。

五	(例) 器官が違くと味も違う のはなぜか。
六	(例) 胚軸の部分は、糖分などの栄養を送るので、甘みがあるのが特徴である。
七	(例) 根の部分は、辛いのが特徴である。
八	(例) 根は、【虫の害】から身を守るため、辛み成分を蓄えている。
九	(例) 特徴を活用 して調理すると、さまざまな味を引き出せる。
十	(例) 他の野菜も調べてみると、新しい魅力が見えてくるかもしれない。

④ 筆者が「問い」を投げかけている段落と、それに対する「答え」を示している段落を挙げましょう。また、それ以外の段落は、文章全体の中でどのような役割をもっているのか考えてみましょう。

「問い」・・・「二」段落 ↓ 「答え」・・・「四」段落
「問い」・・・「五」段落 ↓ 「答え」・・・「六」八」段落
そのほかの段落
「一」段落 役割「導入・話題提示」 「三」段落 役割「例示」
「九」段落 役割「例示」 「十」段落 役割「まとめ」

教科書P 48 「学習の窓」をヒントにして書きましょう。

3 筆者は、わかりやすく説明するためにどのような工夫をしているか、考えたことを書きましょう。

(例)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題から入り、親しみやすい。 ・問いと答えが順に出てくるので、分かりやすい。 ・「でしようか」など、読み手を意識した問いかけがある。 ・専門的な用語が少なく、読みやすい。
-----	--

4 作品の中に出てくる、次の言葉を使って例文を作りましょう。

■ いっぱう (例)

《例文》

彼はおいしいと言った。いっぱい彼女はまずいと言った。

(もう片方では。)

■ いずれ (例)

《例文》

この混乱も、いずれ収まるだろう。

(そのうち。ちかいうちに。)

5 作品の中に出てくる、次の漢字を書きましよう。

■ 描 えが く	■ 蓄 たくわ える	■ 知 チ 恵 エ	■ 甘 あま い	■ 伸 の びる	■ 茎 くき
■ 魅 ミ 力 リヨク	■ 細 サイ 胞 ボウ	■ 隠 かく す	■ 辛 から い	■ 胚 ハイ 軸 ジク	■ 普 フ 段 ダン
■ 破 ハ 壊 カイ	■ 咲 さ く	■ 比 ヒ 較 カク	■ 跡 あと	■ 双 ふた 葉 ば	